白壁土蔵群・赤瓦周辺 観光マップ

豊田家住宅《国登録有形文化財》
1900 年建築の主屋は切妻造り、桟瓦葺き、平入、木造二階建で、倉吉の伝統的な町家形式を保持しています。主屋と渡り廊下で接続する離れは各所に上質の材を用い、昭和初期の熟達した和風の造詣を残しています。

倉吉淀屋（くらよしよどや）
1760（宝暦 10）年建築の倉吉市に現存する最古の町家建物です。「淀屋」の屋号をもつ牧田家は倉吉を代表する商家で、淀屋橋で有名な大坂の豪商「淀屋」と密接な関係を持っていたといわれています。

倉吉レトロ館
白壁土蔵群・赤瓦周辺の西町から魚町にかけての約 600m をレトロストリートと名付けています。周辺の約 60 軒で、時代を経たとっておきのお宝や家に伝わる伝統の品々を倉吉レトロ館に特別公開しています。※入場無料

倉吉ふるさと工芸館
倉吉絣は絵をそのまま織り込んだような、複雑で精巧な模様が特徴です。ふるさと工芸館では実際に倉吉絣の実演が見学できるほか、のれんや鞄など作品の販売を行っています。

くら用心
「くら用心」は平成 15 年に火災で焼失した「肥料桑田」家建物の跡地に建てられました。焼け残ったケヤキの大黒柱や軒下の腕木などを利用し、明治時代の倉吉の町家を参考に復原されています。地区の防災センター。

旧日本産業貯蓄銀行倉吉支店
日本産業貯蓄銀行倉吉支店として昭和 6 年建築の鉄筋コンクリート二階建ての建物。倉吉最初の本格的な西洋建築として、当時流行のセセッションスタイルを取り入れ、小規模な建物に拘わらず多彩な装飾表現が見事です。

琴櫻記念館（ことざくらきねんかん）
倉吉出身の前佐渡ヶ嶽親方（第五十三代横綱「琴桜」）を顕彰する記念館。写真パネルや化粧まわし、入門から逝去までの軌跡をまとめた佐渡ヶ獄部屋オリジナル DVD や天皇賜杯など琴桜関ゆかりの品々を展示しています

琴桜記念碑（ことざくらきねんひ）
「猛牛」として人気を博した前佐渡ヶ嶽親方は倉吉出身。その偉業を称え銅像が造られました。郷土をこよなく愛し、名誉市民に選ばれています。春恒例の「桜ずもう」には佐渡ヶ嶽部屋の力士が現在も参加しています。

赤瓦一号館
大正時代に建てられた醤油の仕込み蔵を改装したもので、天井の梁と束柱を格子状に組み合わせた五重構造の小屋組も見応えがあります。
いなしま酒店、あぶい蒲鉾、渡辺商店
お土産品、中野竹藝、薬膳食堂
ふみ子の手作り工房、てぬぐい工房

見学のできる店 体験のできる店

倉吉いか凧＆軽食喫茶の店
凧の絵付け体験ができます。
1 回 1,200 円(凧実費)
所要時間：30 分

赤瓦十一号館 陶芸館
旅の思い出に短時間で陶芸体験ができます。
1 回 500 円　所要時間：30 分

赤瓦二号館 備後屋（びんごや）
はこた人形の絵付け体験／要予約
1 回 1,200 円　所要時間：20 分

高田酒造
ご見学とご試飲／要予約
無料　所要時間：40 分
見学予約電話 0858-23-1511

豊田家住宅 倉吉の歴史講談

毎日、豊田家住宅にて倉吉の「歴史講談」を行います。皆様のお越しをお待ちしております。
◎毎日一〇時～十五時半
◎場所 豊田家住宅
◎木戸銭五百円
お茶、お菓子付き
◎講談／倉吉談語の会
脇坂 幸司

福の神

(写真は赤瓦二号館)

倉吉の古い街並みのあちらこちらで木彫りの福の神たちに出会うことができます。市内在住の三名の仏師に命を吹き込まれた福の神をめぐることで、倉吉らしい癒しとなごみを感じていただけます。

れとろん

環境にやさしい、電気自動車「れとろん」に乗って爽やかな風にあたりながら倉吉の町並みを探訪してみませんか?
白壁プラン【約 15 分】1,000 円
赤瓦プラン【約 30 分】1,500 円
中央トラベル (TEL) 0858-22-7111
【受付時間】8:00～18:00【運行時間】9:30～16:00
【休み】水・木、年末年始、雨天・荒天時、他

玉川沿いに並ぶ白壁土蔵群は江戸、明治期に建てられた建物が多く、今でも当時の面影を見ることができます。玉川に架けられた石橋や、赤瓦に白い漆喰壁の落ちついた風情のある街並みを歩くと、時間がゆっくり流れていくのが感じられます。
《重要伝統的建造物群保存地区》《かおり風景100選》《美しい日本の歴史的風土100選》

高田酒造《県指定保護文化財》
主屋は 1843 (天保 14) 年に建てられた造り酒屋。格子や軒のデザイン、店の小屋組を生かした空間など、倉吉の町屋の特徴をよく表す造りとなっています。現在も「此君」の銘柄で酒造りを行っている。酒蔵見学が人気。

大蓮寺（だいれんじ）
安土桃山時代に善蓮社然誉上人文翁が三寺を統合し、開山。モダンな本堂は 1955 年に再建した鉄筋コンクリート造りで、県内でも草分け的存在です。建武の武将脇屋義助や大坂の豪商淀屋清兵衛ゆかりの寺。

打吹公園（うつぶきこうえん）
山陰随一の桜の名所。春になると、多種多数のさくらやツツジが咲き、多くの観光客でにぎわいます。また、園内には博物館、動物宿舎のほか、すもう場、野球場、テニスコート、陸上競技場などの総合運動場もあります。

大江神社（おおえじんじゃ）
第 119 代光格天皇の生母、大江磐代君を祀った神社で、明治 13 年の創建。
大江磐代君は、1744 年市内湊町で生まれ、京に上って閑院宮典仁親王の側室となり佑宮（光格天皇）ほか三皇子を産み、69 歳で没しました。

成徳小学校（せいとくしょうがっこう）
成徳小学校は江戸時代、倉吉町を支配した鳥取池田藩の次席家老荒尾氏の陣屋の跡地に建てられたので、荒尾家の家紋『九曜の星』の影をとって校章としています。校舎に「打吹天女」の大きな壁画が描かれています。

町屋清水庵（まちやせいすいあん）
老舗の餅屋が町おこしのために始めた珍しい餅料理店。大正時代の町屋を修繕した風情あるお店です。薄切りの餅をしゃぶしゃぶの要領でいただく「餅しゃぶ膳」が人気で外国人のお客様も多く訪れます。

大岳院（だいがくいん）
1605 年に開創された曹洞宗の名刹。境内には、「南総里見八犬伝」のモデルとなった安房国（千葉県）館山城最後の城主、里見安房守忠義公と八人の家臣が葬られてます。忠義は倉吉に晩年の八年間在住しました。

赤瓦散策コース　レトロ満喫コース
<所要時間>徒歩約 1 時間　<距離>約 2.0 キロメートル
白壁土蔵群周辺をぐるりとたっぷり満喫するコース。玉川沿いの白壁土蔵群とレトロな雰囲気が残る本町通り「倉吉レトロまちかど博物館」を巡りながら、西は倉吉に現存する最古の町家「旧牧田家住宅」から、東は「南総里見八犬伝」のモデルとなった千葉館山の城主里見安房守忠義公と 8 人の家臣ゆかりの「大岳院」まで倉吉をたっぷり堪能します。

赤瓦散策コース　赤瓦満喫コース
<所要時間>徒歩約 40 分　<距離>約 400 メートル
「赤瓦」は一号館から赤瓦十六号館まで、こだわりのお店やギャラリー・郷土玩具の工房などが営業しています。お土産などの買い物はもちろんのこと、イベントや体験などお楽しみがたくさんつまった「赤瓦」を満喫するコースです。

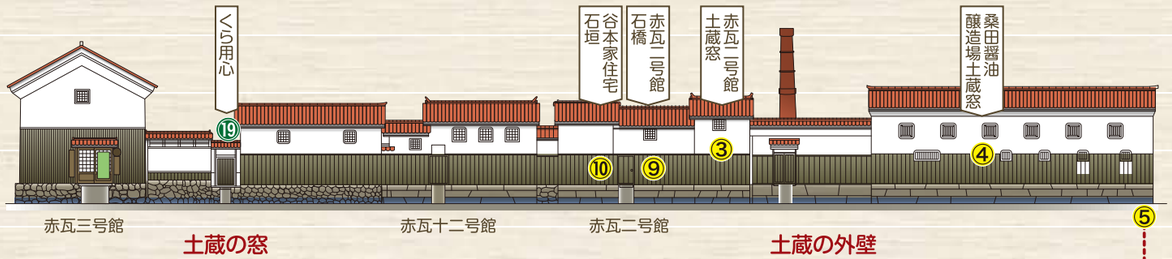
●お問い合せ　赤瓦十号館
倉吉白壁土蔵群・赤瓦観光案内所 ☎0858-22-1200

《赤瓦店舗のお問い合せ》　発行・株式会社赤瓦　〒682-0861 鳥取県倉吉市新町1丁目2441 赤瓦一号館　TEL 0858-23-6666　http://akagawara.net

建物マップ

（重要伝統的建造物群保存地区）
倉吉市打吹玉川伝統的建造物群

玉川沿いには白壁の土蔵が建ち並び、川にかかる石橋と赤褐色の石州瓦が倉吉特有の町並みを形成しています。
玉川の南岸は、本町通りの北側に建ち並ぶ商家の裏側にあたり、外壁は腰廻りが杉焼き板の縦目板張りで、上方が漆喰壁で統一されています。また、それぞれの土蔵の戸口には、ゆるやかな反りをもつ一枚石の石橋が架けられ、独特の景観を醸し出しています。



玉川沿いの土蔵

上半を白漆喰仕上げ、下半に腰壁を付けています。白漆喰以外の仕上げには、黒漆喰、中塗仕上げのものもあります。

土蔵の窓

高田酒造土蔵窓

清水庵土蔵窓

赤瓦二号館土蔵窓

桑田醤油醸造場土蔵窓

土蔵の外壁

玉川沿いの白壁土蔵

杉焼き板の縦目板張り

他地区にみられるような観音開きの扉はなく、鉄や木製の格子に、板戸や摺りガラス等の建具が内部に取りついている場合が多くみられます。

石橋

1枚橋 添柱石のある場合

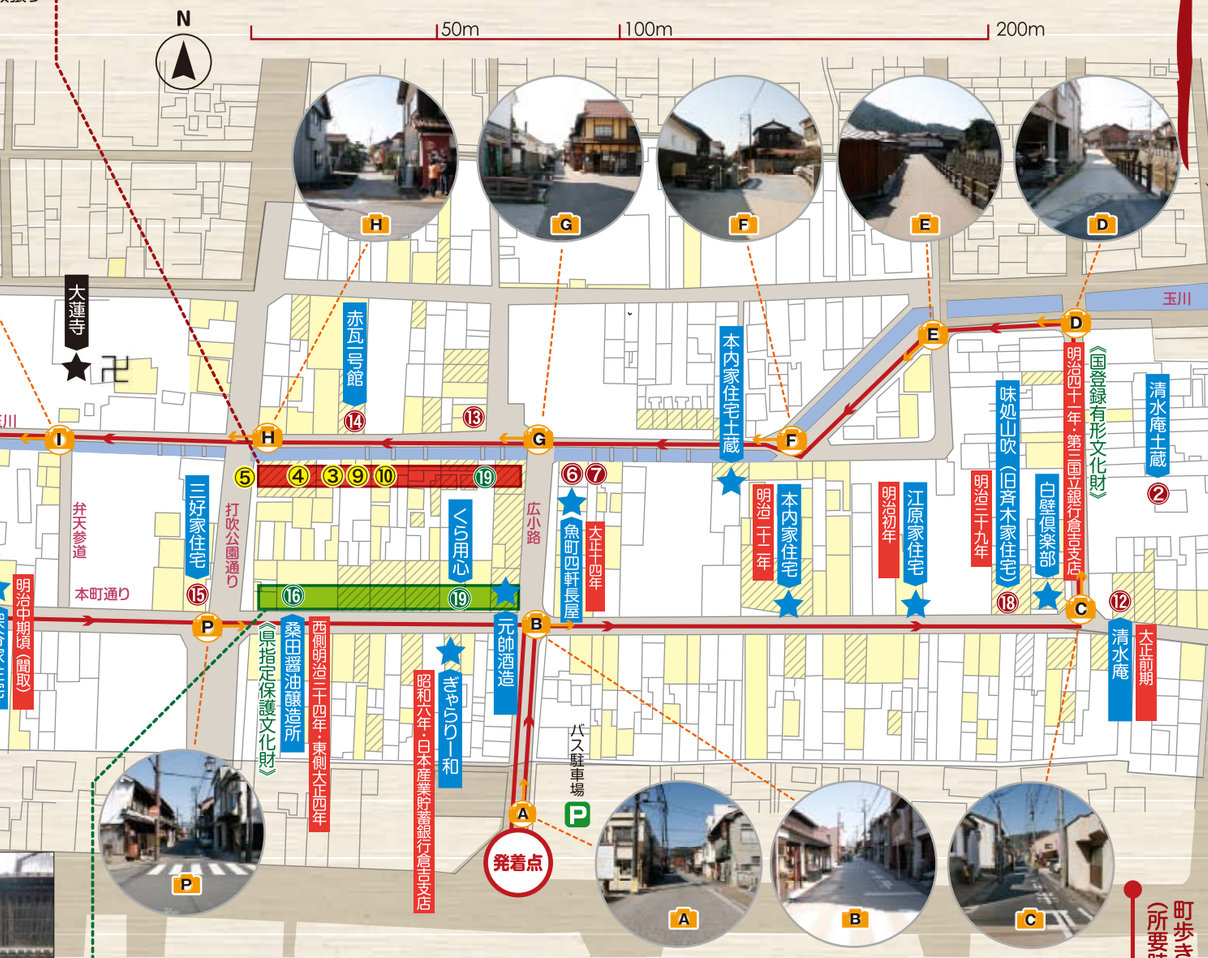
2枚橋 添柱石なし

3枚橋 添柱石なし、傍縁りあり

石垣

北にある向山産の安山岩の打込はぎ積み、または切石積みとし、間口の広い屋敷ほど大きい傾向があります。

土蔵各戸の戸口位置に合計25本の石橋が架けられています。



腕木

高田酒造（天保14年・1843）

漆喰

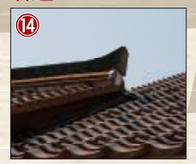
清水庵（大正前期）

正面外観、一階の軒桁を支える腕木は、倉吉の伝統的建造物を特徴づける細部意匠のひとつです。

黄漆喰

真壁造りで、柱間の壁面や小壁を白漆喰で仕上げます。黒漆喰、黄漆喰で仕上げることもあります。

棟石


反り型（強）

棟石の反りは時代が下るにつれて強くなる傾向があります。

二階手摺り

三好家住宅

格子　一階

桑田醤油醸造所主屋

主屋正面の一階、二階には、格子、出格子、腰格子などが設けられいます。

格子　二階

高田家むこうみせ

味処　山吹（旧斉木家）

⑲ 町家の空間構成

町家は、間口より奥行きが深い短冊型の敷地に、道路に面して主屋を建て、主屋の背後には中庭を設け、中庭の両側には便所や風呂・炊事場等の付属屋、背後に土蔵を構える構造である。

伝統的な町家が並ぶ通り

本町通りの伝統的な町並みは魚町にも続き、どの建物も赤茶色に施釉された耐寒性の強い石州瓦の桟瓦が用いられていて、山陰独特の赤瓦屋根の景観美を形成している。切り妻造りの平屋・中二階・二階建の平入りの商家が軒を並べる。

倉吉の町は室町時代に打吹城の城下町として形成され、江戸時代には陣屋を中心に武家屋敷が設けられて当時「町屋十八町」と言われました。倉吉は津山往来、八橋往来、備中往来といった交通網の結節点にあたります。町並みの景観は、本町通りに展開する商家の主屋を主体とする景観と、本町通りと新町通りの間を流れる玉川沿いの景観に大きく分かれます。ともに建物の屋根が石州瓦で葺かれている共通性を持ち、打吹公園などから俯瞰した町並みは、石州瓦（赤瓦）の甍が広がる美しい景観となっています。

★ ●●● 主な伝統的建造物
写真・図を掲載
その他の伝統的建造物

町歩きコース（所要時間／約1時間）

発行・株式会社赤瓦　〒682-0861 鳥取県倉吉市新町1丁目2441 赤瓦一号館　TEL 0858-23-6666　http://akagawara.net